

おね線をずらした赤瓦屋根

歴史を学ぶ楽しさ、発見する楽しさに似た、楽しい感覚のあるエントランス

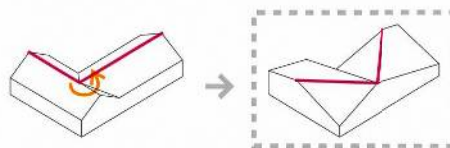
歴史を学ぶ時、
自分なりの見方や考え方が加わると
もっと楽しくなってくる。

浦添大公園歴史学習ゾーン南エントランスに
歴史を学ぶ楽しさ
歴史を発見する楽しさを
建築物でも共有できるよう
建築形態に操作を与える。

既成の赤瓦が載る勾配屋根のおね線を
回転させながらずらす。
考え方を少し変えるだけで
豊かになる建築物の表情と空間。

歴史を学び、習得し
想像力を膨らませ
新しく発展させるような
歴史を学ぶ楽しい感覚が
エントランスで感じられる。

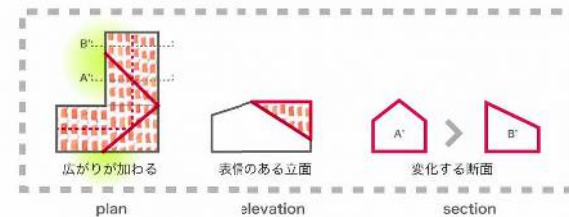
屋根形態の操作



赤瓦勾配屋根のおね線を回転させて、ずらすことにより
立面、断面、屋根の表情に変化が生じる。

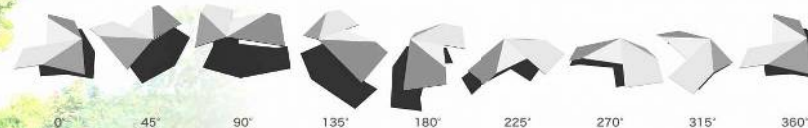
立面と断面の変化

駐車場側と1号園路へ向って広がるようにおね線をずらす。
立面は各面で異なり、様々な表情をもつ建物になる。
断面もすべて異なり、常に変化する空間が生じる。



360°異なる屋根

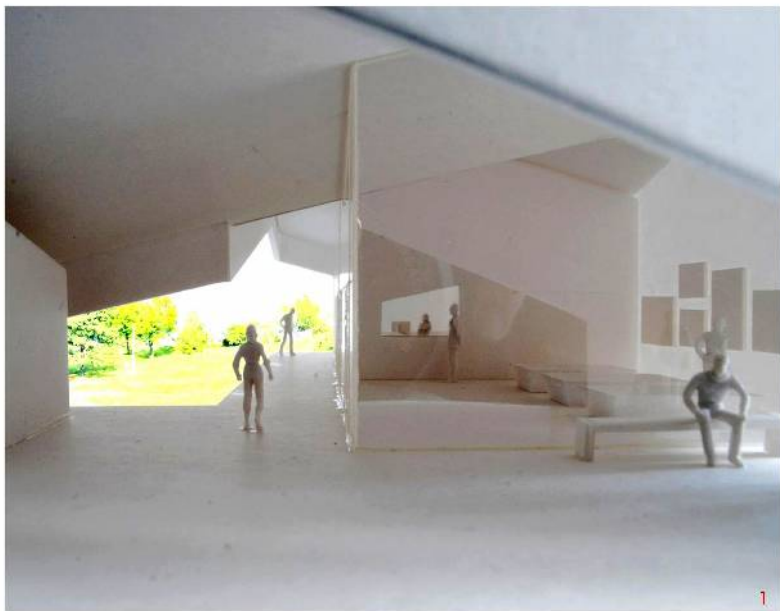
公園通路から見下ろすと親しみある赤瓦屋根が見える。
この屋根は360°異なる見え方をするため、通路を歩くといつも違った表情を見せる。



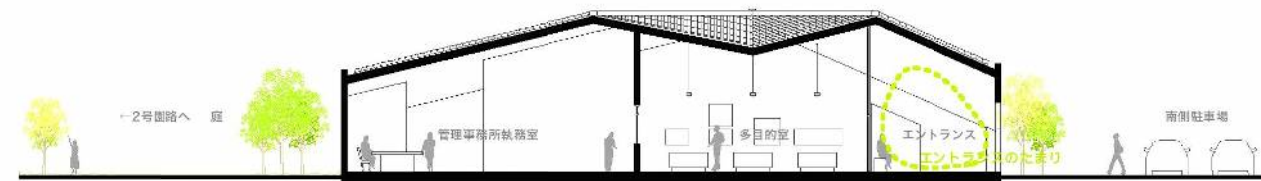
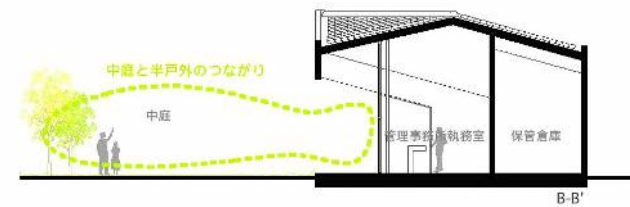
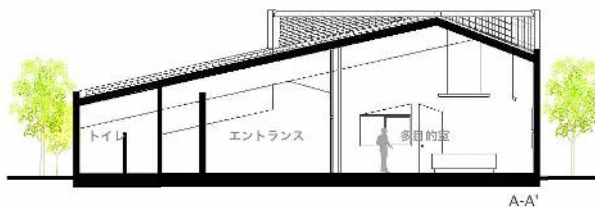
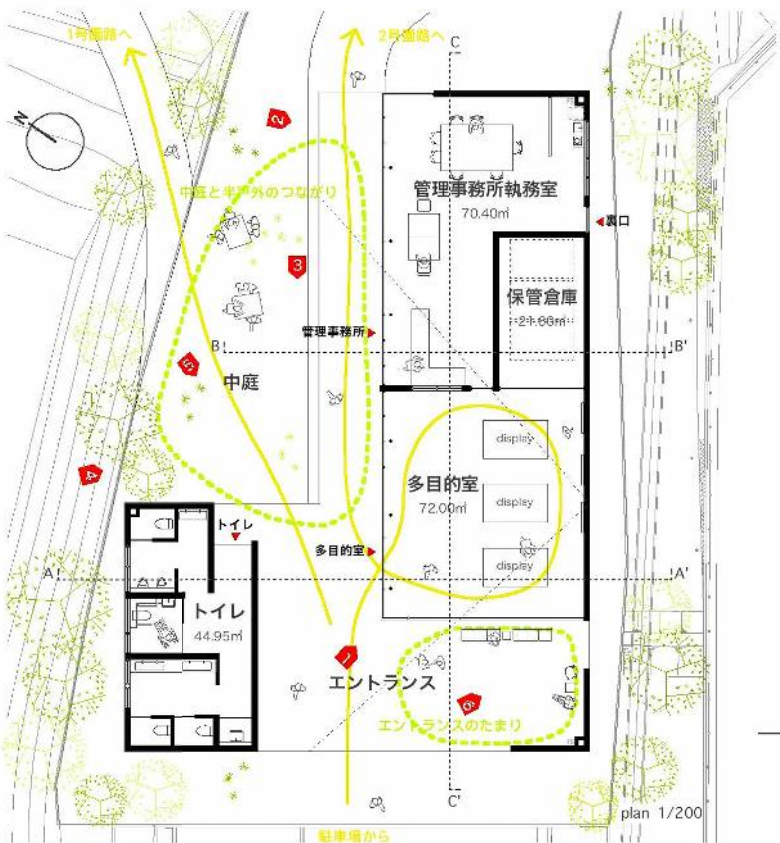
建物の配置

南側駐車場から、半戶外のエントランスの屋根をくぐるように入る。
トイレは利用しやすい手前に設ける。多目的室と管理事務所は隣接する
住宅に背を向けながら、中庭に面して開くように配置する。
屋根の高さによる空間の変化を体感しながら、公園園路へと向う。



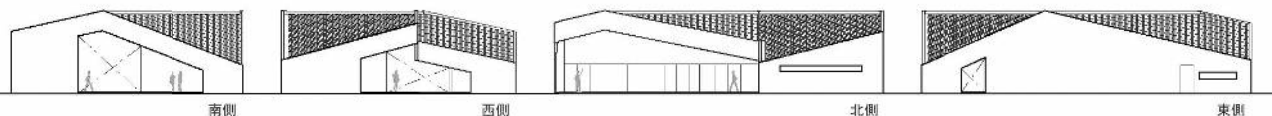


1. 屋根をくくって入る半戶外のエントランスからは建物全体の様子が分かる
2. 中庭に面する管理事務所は気持ち良く執務ができ、外が見渡せるので管理がしやすい
3. 中庭は屋根のかかった軒下空間とつながる
4. 2つの勾配屋根に囲われた中庭
5. 中庭からエントランスとその向こうの駐車場で見渡せる
6. エントランスのたまりは憩いの場となり、児童の学習活動の場にもなる



断面形がすべて異なり、多様な空間がある。必要な場では屋根が高く開放的な空間を、屋根が降りてくる場合は囲われた落ちついた空間になる。

section 1/200



立面もすべての面が異なる。南側は駐車場側から来る人を迎入れるゲートのような形。西側と北側は中庭に向かって開く。東側は隣接する住宅に配慮して閉じている。

elevation 1/200